

やすらぎ

平成23年2月1日
〔第142号〕

発行 御所モラロジー事務所 発行責任者 吉田 実
〒639-2241 奈良県御所市茅原118-1 TEL/FAX 0745-64-3030 E.mail gose-mc@m5.kcn.ne.jp

新年の集い開催

平成23年1月8日午後6時から新年の集いが開催されました。参加者は25名。今年は森村さん夫妻が新たな顔ぶれとして参加されていました。

吉田代表世話人が挨拶に立ち、まず所報に書かれている、広池理事長の記事を読み上げ、理事長の心を心として実行を訴え、自らは今年の干支の卯に2点加えると卯で、卯から出直すつもりと話した。



続いて当事務所には2人の社会教育講師がおり、その2人に話を聞くと言うことから、まず富士俊隆さんが演台に立ちました。

富士さんは、「一昨年社会教育講師になって2事務所のセミナーに出講しました。今までは講師の先生の批判をして来たが、荷の重いことを知った。出講が決まると、相手方の事を考え、頭から離れ

ない。当番の準備に没頭されている事を知った。講義で5分間の空白ができ、苦労しました。聴衆は一言一句真剣に聞いてくれ、『博士にすぎる』ことを実際に体験しました。私にとってかけがえのない1年でした。また、『なぜモラロジーが必要か』がやっと分かりました。それは累代教育の大切さで、親がなくなっではじめて理解でき、感謝することができず。今年はこの経験を事務所にどう生かしていくか、『日びに孜孜』を貫いていきたい」と話しました。

細川家成さんは、「昨年はこの席でセミナーの実行委員長をやらせてもらうことをお願いし、新人200人、継続学習2回、センター講座同行受講など目標は皆様のお力で達成できた。善悪の基準は、『他人の幸せのために努力するか否か』



と概論にある。皆様に幸福になって頂きたい。『道経一体思想』の第6章第5節に、まず自分が十二分に教育されること。最高道徳を聞くだけでは安心も幸福も得られない。人心開発し、救済しなければ真の幸福は得られない。自分の実践を周りの人に話して、聞かせること。経済活動から得られた所得の一部をモラロジー団体に差し出し、人心開発救済の事業の手助けを行うことが大事です。低い、優しい心で、報恩することが大事です。最高道徳を説くだけでは、いかに熱心でもそれでは一時的に効果があり幸福でも、永久の安心と幸福は得られません。真の永久の安心、幸福は、仏教で言う『所



化(しょげ)』では無効で、『能化(のうげ)』指導階級の地位に立たないといけな

いと教えられています。私はこれからどれだけ生かしてもらえるか分かりませんが、人様の幸せを祈り犠牲を払わせてもらうよう努力したいと思います」と話されました。



これで1部は終了。2部、会食の準備に会場を模様替えし、机をコの字型に配置して、アルコールも出てにぎやかな宴会となりました。注文したパック料理に女性クラブがつくった粕汁なども結構でした。また、新年にあたり紅白の饅頭も添えられています。途中から、全員一人ずつ順番に新年の抱負などを話し、奥野先生との政治談議などにも花が咲きました。

例年と変わりばえしない新年の集いでしたが、御所事務所の新年研究会はこれで良いのかという命題に、答えは見つかりませんでした。

広報委員長 米田徳七郎

一人ぼっちの三郎岳

12月4日、土曜日。実に良い天気、全くの快晴。家内の言い付けに従い、まず、阿弥陀さんの花を買いに道の駅に。そのため出発が10時になったが、翌日行こうと思っていた、歩こう会12月行事、三郎岳(さぶろうがだけ)登山を他の参加者がなくなったから1人で挙行了た。

車で榛原の町を過ぎ、内牧川を遡行して、高井の集落に到着。11時。公民館の駐車場にぼつんと1台駐車。仏隆寺(ぶつりゅうじ)に向って歩き出す。途中、少年野球の子供たちのランニングの群れに出会った。「おはようございます」と元気がいい。

仏隆寺の長い石段を上がる。途中に桜の巨木。もちろん花も葉っぱもない。1000年とか。真言宗のお寺でお遍路で馴染みあり、般若心経を唱える。

赤壇の集落を通り過ぎ、小峠の登山口からいよいよ山道、先に行く夫婦組を追い越し高城山に到着。見晴らしよし。南に台高、大峰の山々、西に竜門、音羽三山。遠く金剛葛城を望む。昼食にする。エクレア、かつお、焼きたらこのおにぎりを食べ、みかんと甘なっとうを食する。美味。食べ過ぎ。

高城山を下り、三郎岳の登りを難なく。頂上に先客が2人。挨拶を交わし、互いに記念写真を取り合う。

ガイドブックによると、「かつては好展望の頂きであったが、樹木の成長で今は思うにまかせない」とあるが、どうしてどうして、スンバラシイ、360度の展望。高城山以上である。879mの2等三角点があり。大休憩する。



山頂を後に急な灌木帯を下り、日蓮上人坐像と磨崖仏を見逃し(あっという間に過ぎ)明開寺(めいかいじ)奥院宿坊跡の鞍部到着。さて、ここからどちらに向うのか、不明かいじ。迷いに迷って、

エイ！と左へ降る。これは正解、ガイドブック通りだったようで、明開寺本院跡にでる。

続いて、旧伊勢街道へ向うとあるが、よく分からない。道標も無く。ガードレールに「コース」の字と



矢印のステッカー(これが問題だった)あり。しばらく行くと、橋の脇に、木の表示板あり。左田口、伊勢本街道、右明開寺本院跡。真ん中に矢印があり諸木野。諸木野に行くのは間違いないが、伊勢街道を行くのでしょうか。それに真ん中の矢印方面は薄暗く、踏み跡も怪しい。「ま、いいや。このまま右に回りこんで行けば、元の車の置いた高井の方」とスタコラ歩き出す。20分も下ったか。民家があり、住所表示は室生村田口。「あ！やった。大間違い」。正反対の方へ降りてしまった。「どうしよう？エイ！このまま降り、下の道を少し遠回りすればよい」と判断。車がビュンビュン通る、国道を2時間以上も歩き続けることになった。

怪我の功名もあった。途中の開路トンネルの手前でヘリコプターによる「木出し」を詳細に見物した。2、3分おきにヘリが飛来し、巧みに木材を運んできて、降ろしてゆく。リリースは無線操作のよう。また、伊勢街道の面影を残す、内牧の家並みをのんびり歩けた。

元の高井公民館の駐車場に戻ったの

は、午後4時半。5時間半の行動であった。家に帰り着いた頃は日はとっぴりと暮れていた。くたびれ儲けは、万歩計が3万歩を越したこと。

コースタイム 10:00 自宅出発 = 車 = 11:00 高井集落 11:30 仏隆寺 12:

30 高城山(昼食) 13:00 13:20 三郎岳 13:40 14:00 明開寺跡 14:30 田口 15:40 内牧 16:30 高井 = 車 = 17:30 自宅

とく

運営委員会報告

平成23年1月22日(土)20:00~21:35、事務所で運営委員会が開催され、10名の委員が出席しました。吉田代表世話人は「今年始めの運営委員会です。自分自身、誓いを考えました。また、モラロジー100周年まであと11年、健康でいること」と挨拶し報告、議事に入りました。新しい組織が決まっていない時点での計画立案は困難でした。

報告事項

1. ブックメイツ加入の申し込み希望者は、早急に各地区委員まで申し出てください。
2. 県協議会女性クラブに参加してきました。2月20日(日)桜井あるぼーるに於いて講演会があります。
3. ビジネスクラブ諸行事に当事務所からの参加が少ない。ご協力をお願いします。

審議事項

1. 平成23年度行事計画を次のように決定

〔行事計画〕

- ・ 会議 運営委員会...毎月22日
- ・ 本部主催 モラロジー生涯学習セミナー...9月15日(木)16日(金)50名以上の参加者を目標に対象別開催も可
- ・ 維持員研修会...11月19日(土)20日(日)昨年の内容より変更
- ・ 第 教育集会 講演会(事後開発) ... 10月20日(木)、3月15日(木)、

女性クラブ...7月7日(木)、1月26日(木)

- ・ 第 教育集会 感謝の集い...毎月4日、研究会(ニューモラル勉強会) ... 毎月12日
- ・ 社会貢献 敬老キャンペーン...9月19日(月)、ハンドインハンド...12月18日(日)

〔教育活動目標設定〕

- ・ 維持員増の促進...5名
 - ・ 講座受講の推進...本部講座10名、基礎講座10名
 - ・ 生涯学習セミナーの開催...1回、200名
 - ・ 女性クラブ集い...2回、1回の参加人数は50名
 - ・ 継続学習の開催...2回、1回の参加人数は50名
 - ・ 感謝の集い...10回、1回の参加人数は20名
 - ・ 『ニューモラル』誌の月間購読数...700部、秋キャンペーン...500部
2. 森村稔氏が新会員として承認されました。維持員加入は、現在申請中。

編集後記
正月、はとバスに乗って東京観光に行ってきました。皇居と浅草、東京タワーにフジテレビ本社を見学してきました。